

プリンタードライバー

設定ガイド

UP-D711MD

本書は Windows 7、Windows Vista、Windows XP 用プリンタードライバーの
設定方法について説明しています。

ご使用になる前に

プリンタードライバーをご使用になる前に、必ず“Readme”ファイルをお読みください。

目次

プリンターを設定する	3
[基本設定] タブの設定	4
[濃度調整] タブの設定	5
[メッセージ] タブの設定	6
メッセージ一覧	7

Microsoft、Windows は、それぞれ米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

本書では、UP-D711MD を Windows 7 でご利用いただく場合の各種設定画面を記載し、設定方法を説明しています。設定にあたっては、UP-D711MD の取扱説明書もあわせて参照してください。

プリンターを設定する

アプリケーションからプリントを行う前に、UP-D711MD の設定画面を開いて各種設定を行うことができます。

設定を行う場合は、以下の環境で使用してください。

- ・ディスプレイ解像度 SVGA (800 × 600) 以上
- ・画面上の文字のサイズ は既定値
 - Windows XP：通常のサイズ (96DPI)
 - Windows Vista：既定のスケール (96DPI) (D) – より多くの情報
 - Windows 7：小 – 100% (既定) (S)

設定画面は、以下に示すどちらかの手順で表示することができます。

- ・ [スタート] の [デバイスとプリンター] (Windows Vista の場合は [スタート] の [コントロールパネル] から [プリンタ]、Windows XP の場合は [スタート] の [プリンタと FAX]) を選択します。Sony UP-D711MD のプリンターアイコンを選択し、右クリックして [印刷設定 (G)] (Windows Vista の場合はコマンドバーの [印刷設定の選択]、Windows XP の場合は [ファイル (F)] メニューの [印刷設定 (E)]) を選択します。この手順で設定した内容は、UP-D711MD でプリントする場合の初期値となります。ただし、その初期値が反映されないアプリケーションソフトもあります。
- ・ アプリケーションの [ファイル (F)] メニューから、プリンターの設定を行う項目を選択します。この手順で設定した内容は、アプリケーションが終了するまで有効です。

ここでは、UP-D711MD の設定画面に表示される次のタブについて説明します。

【基本設定】 タブ

用紙サイズ、用紙タイプ、印刷部数など、プリントに関する基本的な設定を行います。

【濃度調整】 タブ

プリントする画像の濃度を設定します。

【メッセージ】 タブ

メッセージダイアログボックスの表示に関する設定を行います。

[基本設定] タブの設定

プリントに関する基本的な設定を行います。



用紙サイズ (Z)

プリンター用紙のサイズを選択します。

項目	説明
596 × 896	50.4 × 75.7 mm
672 × 896	56.8 × 75.7 mm
896 × 896	75.7 × 75.7 mm
896 × 1196	75.7 × 101.1 mm
896 × 2688	75.7 × 227.1 mm

用紙タイプ (T)

セットしているプリンター用紙の種類を選択します。UP-D711MD にセットするプリンター用紙の種類と用紙タイプの設定値は以下のとおりです。

用紙タイプ	プリンター用紙の種類
S	UPP-84S
HG	UPP-84HG

印刷部数 (C)

印刷する部数を選択します。1 から 255 まで設定できます。

拡大／縮小 (S)

拡大率または縮小率を指定します。指定できるのは、25% から 400% までの整数値です。[補間方式 (I)] で選択された方式で、画像補間されます。

本項目は [用紙サイズに合わせて画像を拡大する (E)] との併用はできません。

高速印画 (H)

このチェックボックスをオンにすると、高速モードでプリントされます。

用紙サイズに合わせて画像を拡大する (E)

画像サイズが用紙サイズより小さい場合、画像を用紙サイズに合わせて拡大して印画します。[補間方式 (I)] で選択された方式で、画像補間されます。

本項目は [拡大／縮小 (S)] との併用はできません。

補間方式 (I)

画像の補間方式を選択します。「バイリニア法」または「ニアレストネイバー法」のどちらかを選択できます。

プリント後の紙送り (F)

プリント後のプリンター用紙の送り量 (長い／短い) を設定します。このチェックボックスをオンにすると、プリント後のプリンター用紙の送り量が長くなり、FEED ボタンを押さずに、プリンター用紙をカットできる位置まで送ります。プリント後にプリンター用紙をカットしたい場合はこのチェックボックスをオンにしてください。複数画像をまとめてプリントする場合は、それぞれの画像間の余白が長くなります。なお、このチェックボックスがオンのときは、[□枚に一度 (Y)] を設定できます。このチェックボックスをオフにすると、プリント後のプリンター用紙の送り量が短くなります。複数画像をまとめてプリントし、それぞれの画像間の余白を短くしたい場合は、このチェックボックスをオフにしてください。

ご注意

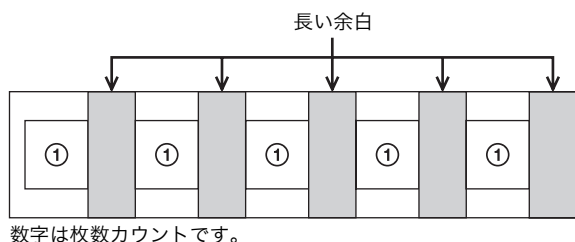
プリント後のプリンター用紙の送り量が短い場合は、FEED ボタンを押し、プリンター用紙を送ってからカットしてください。押さずにカットすると、画像の途中でカットされます。

□枚に1度 (Y)

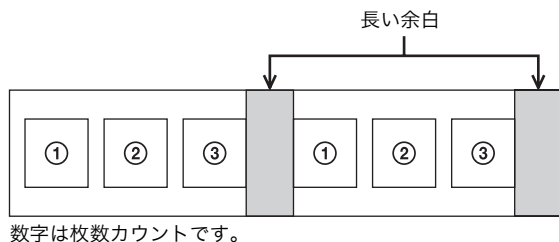
何枚に1度、プリント後のプリンター用紙の送り量を長くするかを設定できます。設定した枚数がプリントされるまで、プリンター用紙の送り量が短くなり、設定した枚数がプリントされた後、プリンター用紙の送り量が長くなります。

枚数カウントは、設定枚数分プリントしたときにリセットされます。電源投入時、FEED ボタンを押したとき、枚数設定変更時、又は印刷キャンセル時にもリセットされます。

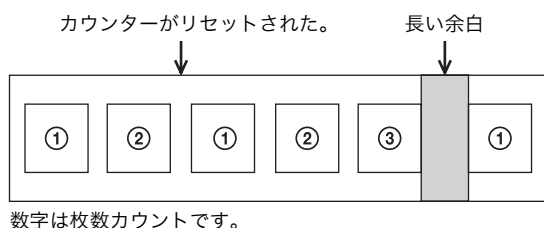
(例 1) 「□枚に 1 度 (Y)」: 1 の場合



(例 2) 「□枚に 1 度 (Y)」: 3 で 6 枚プリントする場合
・リセットが行われない場合



・ 2 枚目プリント後にリセットが行われた場合



設定情報付加 (W)

このチェックボックスをオンにすると、「濃度調整」タブの設定値情報を画像の下に付加してプリントします。各設定値は以下のような表記でプリントします。

項目	表記
ガンマ (G)	GAM
アドバンスト (V)	ADV
ダーク (R)	DARK
ライト (L)	LIGHT
シャープネス (S)	SHARP

画像の向き

プリントする画像の方向を選択します。プリントする画像が縦長の場合は「縦 (P)」を、横長の場合は「横 (L)」をチェックしてください。「逆方向 (R)」をチェックすると、画像を 180 度回転させてプリントします。

ご注意

プリント結果は、アプリケーションソフトウェアによって異なる場合があります。実際にプリントして確認してください。

読み込み (O)

保存した設定値を読み込むことができます。

保存 (V)

設定値を保存することができます。

バージョン情報 (B)

ドライバーのバージョンを表示します。

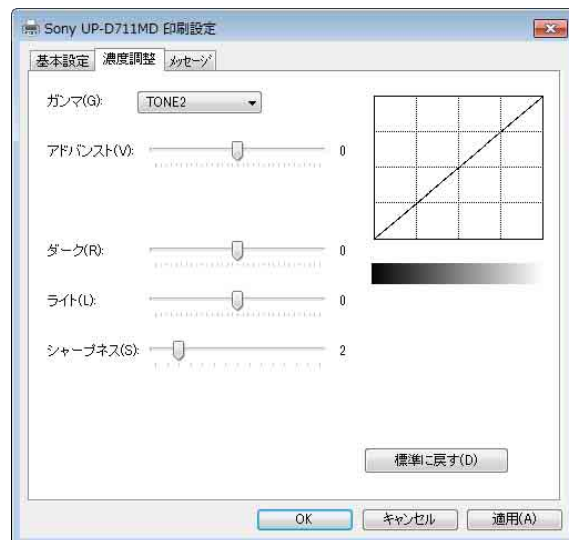
標準に戻す (D)

「基本設定」タブでの設定をすべて初期状態に戻します。

「濃度調整」タブの設定

プリントする画像の濃度を調整します。調整した効果は設定画面右上の濃度グラフおよびグラデーションバーに反映されます。ただし、「ガンマ (G)」の設定値の効果は反映されません。

濃度グラフの縦軸は実際にプリントされる濃度を表し、上限値は白、下限値は黒の濃度となります。横軸は画像データを表し、上限値は白データ、下限値は黒データとなります。グラデーションバーは、濃度グラフの縦軸を数値の変わりに実際の濃度で表現したものです。



ガンマ (G)

中間調の階調パターンを選択します。

項目	説明
TONE1	標準より濃度が薄い
TONE2	標準
TONE3	硬調
TONE4	軟調

アドバンスト (V)

中間調の濃度を調整します。設定値を大きくするほど中間調の濃度が濃くなります。± 32 段階で調整できます。数値「0」が標準です。調整範囲は「- 32 ~ + 32」です。

ダーク (R)

暗い部分の階調を調整します。設定値を大きくするほど暗い部分の濃度が濃くなります。± 64 段階で調整できます。数値「0」が標準です。調整範囲は「- 64 ~ + 64」です。

ライト (L)

明るい部分の階調を調整します。設定値を大きくするほど明るい部分の濃度が薄くなります。± 64 段階で調整できます。数値「0」が標準です。調整範囲は「- 64 ~ + 64」です。

シャープネス (S)

画像の輪郭を調整します。設定値を大きくするほど画像の輪郭が強調されます。15 段階で調整できます。数値「2」が標準です。調整範囲は「0 ~ 14」です。

標準に戻す (D)

[濃度調整] タブでの設定をすべて初期状態に戻します。

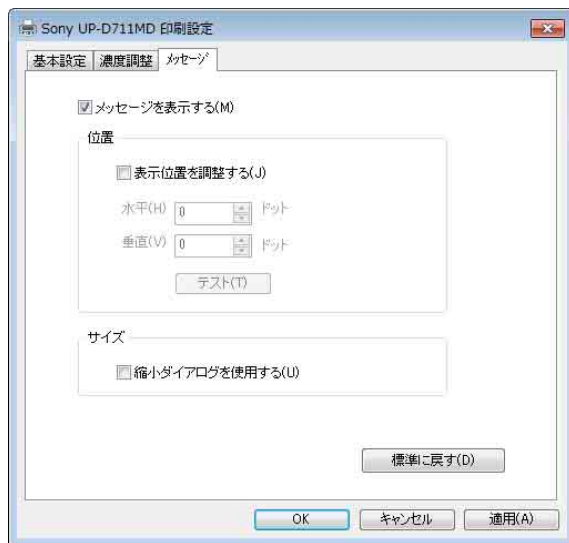
[メッセージ] タブの設定

メッセージダイアログボックスの表示に関する設定を行います。

メッセージダイアログボックスは、UP-D711MD にエラーなどが発生したときに表示されます。

メッセージダイアログボックスは、標準の大きさと縮小されたダイアログの 2 種類があります。標準のメッセージダイアログボックスは UP-D711MD のエラー状況と操作の指示が表記されています。縮小メッセージダイアログボックスは操作の指示を簡単に (1 文で) 表記されています。

メッセージの詳細は、「メッセージ一覧」(7 ページ) をご参照ください。



メッセージを表示する (M)

メッセージダイアログボックスを表示させるかさせないかを設定します。このチェックボックスがオフの場合は [メッセージ] タブのその他の設定は行えません。

表示位置を調整する (J)

このチェックボックスをオンにすると、メッセージダイアログボックスの表示位置を調整することができます。[水平 (H)]、[垂直 (V)] で指定した位置にメッセージダイアログボックスが表示されます。

初期設定値：オフ (標準のメッセージダイアログボックスは画面中央に表示され、縮小メッセージダイアログボックスは画面左上に表示されます。)

水平 (H)、垂直 (V)

この設定項目は、[表示位置を調整する (J)] をオンにすると有効になります。表示させたい画面位置 (メッセージダイアログボックスの左上端) の座標を入力します。

ここで指定した位置にメッセージダイアログボックスが表示されます。

テスト (T)

このボタンをクリックすると、ディスプレイなどの画面上のどの位置にメッセージダイアログボックスが表示されるかを確認できます。[水平 (H)]、[垂直 (V)] で指定した位置に確認用のダイアログボックスが表示されます。

縮小ダイアログを使用する (U)

このチェックボックスをオンにすると、メッセージダイアログボックスが縮小ダイアログボックスになります。

標準に戻す (D)

[メッセージ] タブでの設定をすべて初期状態に戻します。

メッセージ一覧

表示されるメッセージは以下のとおりです。メッセージに従って対処してください。対処方法については、UP-D711MD の取扱説明書もあわせて参照してください。

標準のメッセージダイアログボックス	縮小メッセージダイアログボックス
感熱紙がありません。感熱紙を補給してください。[再試行] を押すと、印刷を続行します。5 秒経過すると、自動的に再試行します。	感熱紙を補給してください。
フィード中です。しばらくお待ちください。[再試行] を押すと、印刷を続行します。5 秒経過すると、自動的に再試行します。	フィード中です。お待ちください。
ドアが開いています。ドアを閉じてください。[再試行] を押すと、印刷を続行します。5 秒経過すると、自動的に再試行します。	ドアを閉めてください。
感熱ヘッドの温度を調整中です。しばらくお待ちください。[再試行] を押すと、印刷を続行します。5 秒経過すると、自動的に再試行します。	お待ちください。
プリンターの動作に問題が発生しました。印刷を中止します。プリンターの電源を入れ直して、もう一度印刷してください。	プリンターの電源を入れ直してください。
プリンターの準備ができていません。プリンターの電源とケーブルの接続を確認してください。[再試行] を押すと、印刷を続行します。5 秒経過すると、自動的に再試行します。	プリンターを確認してください。